



「子どもたちの安心・安全のために!!」

今週は、雪が積もったり気温がマイナスになったり、冬の厳しさを感じる毎日です。子どもたちは、寒さに負けないで、元気よく学校に登校しています。また、子どもたちの元気な朝の挨拶が増えてきたことをうれしく思っています。

今回は、「学校では、子どもたちの安心・安全のために何をしているのか。」について、お話しをしたいと思います。

薬物乱用防止教育学習会

20日金曜日は、保護者、5・6年生を対象に薬物乱用防止教育学習会が実施されました。講師の筑前町健康課、一木副課長さんから次のようなお話がありました。

薬物って何？

→薬物とは、覚せい剤、大麻、コカイン、ヘロイン、LSD、MDMA、向精神薬、シンナー・・・などの精神に影響を及ぼす物質で、習慣性があり、乱用され、又は乱用されるおそれのある薬物として、法令により取り扱いが禁止又は制限されているもの。

なぜ薬物を使用したらいけないの？

→覚せい剤や麻薬などは、それを乱用する人間の精神や身体をボロボロにし、人間が人間としての生活を営むことをできなくするだけでなく、場合によっては死亡することもある。また、薬物の乱用による幻覚・妄想が、殺人、放火などの凶悪な犯罪や交通事故を引き起こすなど、恐ろしい結果をもたらす。また、薬物を使用するとどうなるのか、どのように甘い言葉で誘われるか、具体的にどんな言葉に注意したらよいのかを分かりやすく話して頂きました。シンナーが人体にどれくらい害があるかについては、発砲スチロールを人間の脳に見立てて検証して頂きました。子どもたちから驚きの声が挙がりました。



子どもたちはこれから、いろいろな場面で薬物に出会うかもしれません。その時は、この学習を思い出して危険を回避することを願っています。

防犯アドバイザー授業

21日土曜日は、1・2年生を対象に防犯アドバイザー授業を実施しました。

講師の先生から、あなたは大切な人だからだれからもどんな時どんなことをしたとしても傷つけられずに育つ「けんり」があるというお話しをして頂きました。また、自分の身は自分で守ると言うことで次のことを学習しました。

- 知らない人が話かけてきたら、常に一定の距離（相手の手の長さで自分の手の長さを合わせた距離）を保つ
- 身の危険を感じたら、「助けてー。」ではなく「うおー。」と大きな声を挙げて全速力でその場から逃げる

裏面に続く

安全・安心集会

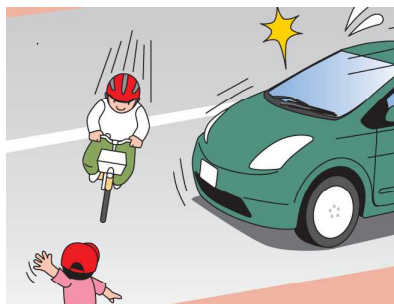
21日土曜日は、全校児童を対象に、学校運営協議会主催で、「安全・安心集会」を開催しました。テーマは、「交通安全」です。この日は、子どもたちの登下校を見守って頂いている見守りネットワークの方々にも参加して頂きました。

最初に月の歌「ありがとうの花」を全児童で合唱しました。子どもたちの素晴らしい歌声がランチルームにこだましました。子どもたちの歌声にうっとりです。この日は、交通ルールを守らなかったら、どうなるのかについて説明して頂きました。

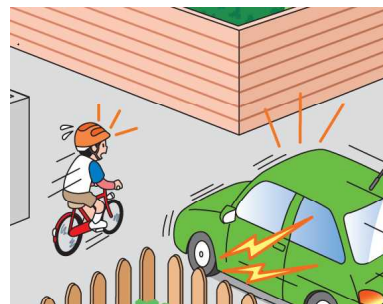
特に、自転車については



①スピードをださない



②斜め横断をしない



③飛び出さない



④信号無視をしない



⑤並んで走らない



を学習しました。「大けがをしなかったのは、スピードをだしていなかったこととヘルメットをかぶっていたことです。」と実際に自転車に乗っていて事故に遭った教師の体験談と話を聞く子どもたちの真剣な眼差しがとても印象的でした。いろいろと工夫して、子どもたちにわかりやすい「安全・安心集会」にして頂いた学校運営協議会の皆様に感謝です。

最後に、学校運営協議から子どもたち一人ひとりに安全キッズ認定証を頂きました。

安全点検

学校では、月に1回、全職員で学校内の安全点検をしています。直ぐに対応できる場所は、学校で対応しています。学校で、対応できない場合は、教育委員会に依頼します。1年生と2年生の前面の右の壁が少し反っている件につきましては、教育委員会に依頼して、現在応急処置をしてもらっています。夏休みに、改修になる見込みです。

また、大川市では授業中にサッカーゴールが倒れ、児童が亡くなるという起こってはいけない事故が起きています。直ぐに、サッカーゴールの状況を確認しましたが、社会体育で利用した時に、移動した形跡がありました。杭については、しっかり固定しています。安全面を考えて、今後は、サッカーゴール移動に関しては、学校長の許可が必要としました。子どもたちの安全については、配慮し過ぎることはありません。今後も、全職員で学校の安全・安心に努めていきます。